



2018年7月10日

損害保険ジャパン日本興亜株式会社

SOMPOリスクアマネジメント株式会社

『スマイリングロード』累計導入社数1,000社突破 ～継続利用で自動車事故件数が2年連続減少～

損害保険ジャパン日本興亜株式会社（社長：西澤 敬二、以下「損保ジャパン日本興亜」）および SOMPOリスクアマネジメント株式会社（社長：布施 康、以下「SOMPOリスクア」）がご提供する、企業向け安全運転支援サービス『スマイリングロード』の累計導入社数が、2018年6月末に1,000社を突破しました。

1. 『スマイリングロード』の概要

- ・『スマイリングロード』は、IoT関連技術の活用によりドライバーの自発的・継続的な安全運転意識向上を促し、同時に管理者の効率的な指導を支援するサービスです。事故防止に貢献する業界初の企業向けテレマティクスサービスとして、2015年3月から提供を開始しました。
- ・発売以降、お客さまの声をふまえて、ドライバーを「ほめる」機能や、ドライバー指導ツール・各種データの出力機能など、損保ジャパン日本興亜独自の機能を順次追加・拡充することで、導入企業の継続的な事故削減効果の向上に取り組んできました。

2. 『スマイリングロード』の導入社数と事故削減効果

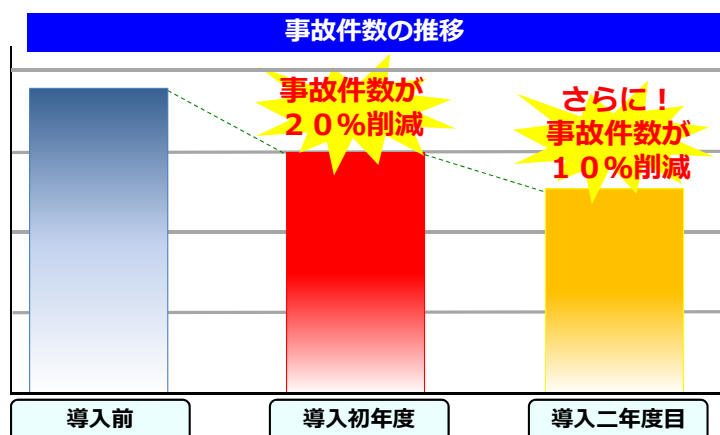
(1) 導入状況（2018年6月末時点）

『スマイリングロード』の累計導入社数は1,000社、累計導入台数は40,000台を突破しました。

(2) 事故削減効果

『スマイリングロード』導入企業の事故件数は、導入初年度に全体で約20%減少しました。

また、一般的に、「慣れ」により効果が減少すると言われていた二年度目についても、導入初年度と比較して、さらに約10%減少しており、継続的な事故削減効果があることが確認されました。



3. 今後の展開

損保ジャパン日本興亜とSOMPOリスクアは、今後も『スマイリングロード』を通じて先進技術や保険会社ならではのビッグデータ、自社で培った事故防止のノウハウ、そしてお客さまの声を活かしたサービスをご提供し、安心・安全な社会の実現に貢献していきます。

以上